

歯科 経営 情報

REPORT

Available Information Report for
dental Management



経営

2023 年決算データからみる

歯科診療所 経営実績分析

- 1 2023 年 経営実績とその傾向
- 2 2023 年 収入上位診療所の経営実績
- 3 2023 年 収入ランク別経営実績
- 4 2023 年 医療法人経営指標分析結果

2024

4

APR

〇〇会計事務所

1 | 2023年 経営実績とその傾向

1 | 2023年経営実績の概要

本調査は2023年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している2022年との比較を通して、改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、2023年に決算を終えた歯科診療所306件（医療法人91件、個人開業215件）の数値を抽出し、平均値を算出しています。

なお、本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2023年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
I 医業収入	60,896	63,336	104.0%
1. 保険診療収入	50,480	52,128	103.3%
2. 自由診療収入	10,091	10,922	108.2%
3. その他の医業収入	325	286	88.0%
II 変動費	12,199	12,374	101.4%
1. 医薬・歯科材料費	6,153	6,104	99.2%
2. 外注技工料	6,046	6,270	103.7%
III 限界利益	48,697	50,962	104.7%
IV 医業費用	29,109	30,982	106.4%
1. 人件費	10,116	11,300	111.7%
2. 減価償却費	4,574	4,702	102.8%
3. 接待交際費	701	879	125.4%
4. 研究研修費	299	319	106.7%
5. 保険料	925	888	96.0%
6. 消耗器具備品費	975	918	94.2%
7. その他経費	11,519	11,976	104.0%
V 医業利益	19,588	19,980	102.0%

2 | 全体動向と利益の傾向

(1) 全体動向

2023 年における歯科診療所の経営実績は、2022 年と比較して増収増益となりました。

保険診療収入は 3.3%、自由診療収入は 8.2%の増加になっています。

2022 年の前半では新型コロナ感染はまだ残っている状況でしたので受診抑制はありましたが後半から 2023 年にかけては、コロナ禍前と同じくらいまで来院患者数が回復したことが要因と思われます。

◆ 医業収入・費用等全体の傾向

● 医業収入

医業収入は 63,336 千円で、2,440 千円（対前年比 4.0%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が 1,648 千円（同 3.3%）、自由診療収入が 831 千円（同 8.2%）の増加、その他の医業収入が 39 千円（同 12.0%）の減少となりました。

● 変動費

変動費（医薬・歯科材料費・外注技工料等）は 12,374 千円で、175 千円（対前年比 1.4%）の増加となっています。

● 医業費用

医業費用は 30,982 千円で、1,873 千円（対前年比 6.4%）の増加となっています。人件費（同 11.7%）、研究研修費（同 6.7%）、接待交際費（同 25.4%）、減価償却費（同 2.8%）、その他経費（同 4.0%）は増加し、保険料（同 4.0%）、消耗器具備品（同 5.8%）は減少しています。

● 医業利益

医業利益は 19,980 千円で、392 千円（対前年比 2.0%）の増加となっています。

(2) 利益状況

限界利益、医業利益ともに増加し、限界利益が前年対比 4.7%、医業利益は同 2.0%増加という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2022 年	2023 年	前年対比
限界利益	48,697	50,962	104.7%
医業利益	19,588	19,980	102.0%

3 | 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入の合計では、対前年比 4.0%、保険診療収入が 3.3%、自由診療収入が 8.2%の増加、その他の医業収入が 12.0%の減少となっています。

■ 医業収入

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	前年対比
医業収入合計	60,896	63,336	104.0%
保険診療収入	50,480	52,128	103.3%
自由診療収入	10,091	10,922	108.2%
その他の医業収入	325	286	88.0%

◆ 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は 63,336 千円で 2,440 千円の増加となりました。内訳として、保険診療収入は 1,648 千円（対前年比 3.3%）、自由診療収入は 831 千円（同 8.2%）の増加となりました。

● 総収入に占める自由診療収入の割合

2022 年は 16.6%、2023 年では 17.2%となっており、増加となっています。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、次のとおりです。

変動費は 1.4%の増加、人件費は 11.7%の増加、その他医業費用は 3.6%の増加となっています。なお、人件費には、役員報酬及び専従者給与は含まれていません。それぞれ個別に集計し、参考データとして掲載しました。役員報酬の母数は 96 件、専従者給与の母数は 214 件です。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	前年対比
変動費合計	12,199	12,374	101.4%
変動費率	20.0%	19.5%	—
医薬・歯科材料費	6,153	6,104	99.2%
外注技工料	6,046	6,270	103.7%

②人件費

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
人件費合計	10,116	11,300	111.7%
(参考) 役員報酬	8,633	9,178	106.3%
(参考) 専従者給与	2,988	3,019	101.0%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
その他医業費用合計	18,993	19,682	103.6%
減価償却費	4,574	4,702	102.8%
接待交際費	701	879	125.4%
研究研修費	299	319	106.7%
保険料	925	888	96.0%
消耗器具備品費	975	918	94.2%
その他経費	11,519	11,976	104.0%

(2)医業費用の傾向

●変動費

変動費は12,374千円で、175千円増加しています。

医薬・歯科材料費は49千円減少し、外注技工料は224千円増加しています。

●人件費

人件費は11,300千円で、1,184千円の増加、役員報酬は2023年平均で9,178千円、前年対比106.3%と増加となっています。また、専従者給与の平均は3,019千円、前年対比101.0%となっています。

長引く物価高や慢性的な人手不足解消の対策として、昨年より国内の大企業を中心に賃上げの動きが拡大された結果だと考えられます。

●その他医業費用

その他医業費用は19,682千円で、689千円の増加となりました。そのうち減価償却費が128千円増加しているため、実質的なその他医業費用は561千円増加しています。

2 | 2023 年 収入上位診療所の経営実績

1 | 収入上位診療所の経営実績の概要

第1章で分析した歯科診療所 306 件（医療法人 91 件、個人開業 215 件）の決算書より、医業収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。対象は 62 件で、内訳は医療法人 40 件、個人開業 22 件となっています。

なお、本分析では人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2023 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	前年対比
I 医業収入	125,515	132,250	105.4%
1. 保険診療収入	96,420	101,531	105.3%
2. 自由診療収入	28,410	30,100	105.9%
3. その他の医業収入	685	619	90.4%
II 変動費	25,367	25,508	100.6%
1. 医薬・歯科材料費	12,574	12,637	100.5%
2. 外注技工料	12,793	12,871	100.6%
III 限界利益	100,148	106,742	106.6%
IV 医業費用	61,661	64,473	104.6%
1. 人件費	23,733	25,355	106.8%
2. 減価償却費	7,814	8,704	111.4%
3. 接待交際費	1,285	1,599	124.4%
4. 研究研修費	586	664	113.3%
5. 保険料	2,673	2,344	87.7%
6. 消耗器具備品費	2,723	2,394	87.9%
7. その他経費	22,847	23,413	102.5%
V 医業利益	38,487	42,269	109.8%

2 | 収入上位診療所の動向と利益の傾向

(1) 経営動向と利益状況

2023年歯科診療所全体の経営実績は、収入上位診療所では増収増益となりました。保険診療収入、自由診療収入ともに増加しています。

◆ 医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

医業収入は132,250千円で、6,735千円（対前年比5.4%）の増加となっています。内訳をみると、保険診療収入が5,111千円（同5.3%）、自由診療収入は1,690千円（同5.9%）の増加、その他の医業収入は66千円（同9.6%）の減少となりました。

● 変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は25,508千円で、141千円（対前年比0.6%）の増加となりました。

● 医業費用

変動費以外の医業費用は64,473千円で、2,812千円（対前年比4.6%）の増加となりました。保険料、消耗器具備品費が減少し、人件費、減価償却費、接待交際費、研究研修費、その他経費が増加しています。

● 医業利益

医業利益は42,269千円で、3,782千円（対前年比9.8%）の増加となりました。

(2) 利益動向

限界利益が6,594千円の増加で、医業利益が3,782千円の増加となりました。

限界利益が対前年比6.6%、医業利益は同9.8%増加という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
限界利益	100,148	106,742	106.6%
医業利益	38,487	42,269	109.8%

3 | 医業収入の傾向

収入上位診療所の医業収入の実績は下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比105.4%となっています。保険診療収入、自由診療収入とも伸びを示しています。

(1) 医業収入 対前年比較

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
医業収入合計	125,515	132,250	105.4%
保険診療収入	96,420	101,531	105.3%
自由診療収入	28,410	30,100	105.9%
その他の医業収入	685	619	90.4%

(2) 医業収入分析結果

● 医業収入

医業収入は132,250千円で、6,735千円（対前年比5.4%）の増加となりました。保険診療収入が5,111千円（同5.3%）、自由診療収入が1,690千円（同5.9%）増加、その他の医業収入が▲66千円（同▲9.6%）減少しています。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用対前年比較

医業費用では、変動費は0.6%、人件費は6.8%増加しており、その他医業費用としては3.1%増加しています。なお、人件費の取り扱いは前述の通りで、役員報酬の母数は40件、専従者給与の母数は22件となります。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
変動費合計	25,367	25,508	100.6%
変動比率	20.2%	19.3%	—
医薬・歯科材料費	12,574	12,637	100.5%
外注技工料	12,793	12,871	100.6%

②人件費

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	年対比
人件費	23,733	25,355	106.8%
(参考) 役員報酬	22,319	24,287	108.8%
(参考) 専従者給与	3,696	3,950	106.9%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	前年対比
その他医業費用合計	37,928	39,118	103.1%
減価償却費	7,814	8,704	111.4%
接待交際費	1,285	1,599	124.4%
研究研修費	586	664	113.3%
保険料	2,673	2,344	87.7%
消耗器具備品費	2,723	2,394	87.9%
その他経費	22,847	23,413	102.5%

(2)医業費用分析結果

●変動費

変動費は 25,508 千円で、141 千円（対前年比 0.6%）の増加となっています。

●人件費

人件費は 25,355 千円で、1,622 千円（対前年比 6.8%）の増加となっています。役員報酬 2023 年平均で 24,287 千円、前年対比 8.8%の増加となっています。

長引く物価高や慢性的な人手不足解消の対策として、昨年より国内の大企業を中心に賃上げの動きが拡大された結果だと考えられます。

●その他医業費用（人件費以外の医業経費）

その他医業費用は 39,118 千円で、1,190 千円（対前年比 3.1%）の増加となっています。

3 | 2023 年 収入ランク別経営実績

1 | 収入ランク別経営実績の概要

本分析で抽出したデータは、2023 年に決算を終えた歯科診療所 306 件（医療法人 91 件、個人開業 215 件）から、医業収入が年間 5 千万円未満、5 千万円以上 1 億円未満、1 億円以上に分けて分析しました。

第 2 章のデータ同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■各データのサンプル数

● 5 千万円未満	145 件（医療法人 20 件	個人開業 125 件）
● 5 千万円以上 1 億円未満	119 件（医療法人 42 件	個人開業 77 件）
● 1 億円以上	42 件（医療法人 29 件	個人開業 13 件）

医業収入別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。収入ランク別に集計した主要データは、下記のとおりです。

■2023 年 収入ランク別主要データ

（単位：千円）

医業収入 ランク	5 千万円未満 平均	5 千万円～1 億円未満 平均	1 億円以上 平均
医業収入	31,649	69,387	152,003
変動費	6,167	13,582	29,600
限界利益	25,482	55,805	122,403
人件費	5,344	13,313	30,743
その他医業費用	9,855	22,803	43,803
医業利益	10,283	19,689	47,857

2 | 収入ランク別診療所経営実績分析結果

(1) 医業収入5千万円未満の診療所の平均データ

医業収入5千万円未満診療所の歯科診療所は、増収増益となりました。医業収入は558千円（対前年比1.8%）、医業利益は93千円（同0.9%）の微増となりました。

物価上昇に伴い、医療の中でも価格上昇があった中、経費削減等に取り組んだ結果だと思われま。

■2023年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
I 医業収入	31,091	31,649	101.8%
1. 保険診療収入	28,260	28,611	101.2%
2. 自由診療収入	2,680	2,879	107.4%
3. その他の医業収入	151	159	105.3%
II 変動費	6,114	6,167	100.9%
1. 医薬・歯科材料費	3,101	2,997	96.6%
2. 外注技工料	3,013	3,170	105.2%
III 限界利益	24,977	25,482	102.0%
IV 医業費用	14,787	15,199	102.8%
1. 人件費	5,256	5,344	101.7%
2. 減価償却費	2,469	2,498	101.2%
3. 接待交際費	396	502	126.8%
4. 研究研修費	159	141	88.7%
5. 保険料	220	228	103.6%
6. 消耗器具備品費	270	278	103.0%
7. その他経費	6,017	6,208	103.2%
V 医業利益	10,190	10,283	100.9%

n=145件（医療法人 20件 個人開業 125件）

(2) 医業収入5千万円～1億円未満の診療所の平均データ

医業収入5千万円～1億円未満の歯科診療所は増収減益となりました。

医業収入は1,960千円（対前年比2.9%）の増加でしたが、医業利益は、449千円（同2.2%）の減少となりました。

社会情勢の中での人件費の増加と、歯科衛生士不足による募集給与の上昇の影響もあったと思われます。

■2023年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2022年	2023年	前年対比
I 医業収入	67,427	69,387	102.9%
1. 保険診療収入	56,775	57,904	102.0%
2. 自由診療収入	10,345	11,218	108.4%
3. その他の医業収入	307	265	86.3%
II 変動費	13,514	13,582	100.5%
1. 医薬・歯科材料費	6,805	6,680	98.2%
2. 外注技工料	6,709	6,902	102.9%
III 限界利益	53,913	55,805	103.5%
IV 医業費用	33,775	36,116	106.9%
1. 人件費	10,970	13,313	121.4%
2. 減価償却費	5,690	5,395	94.8%
3. 接待交際費	822	1,014	123.4%
4. 研究研修費	322	331	102.8%
5. 保険料	986	884	89.7%
6. 消耗器具備品費	1,036	984	95.0%
7. その他の経費	13,949	14,195	101.8%
V 医業利益	20,138	19,689	97.8%

n=119件（医療法人 42件 個人開業 77件）

(3) 医業収入1億円以上の診療所の平均データ

医業収入1億円以上の歯科診療所は、増収増益の結果となりました。医業収入は、7,023千円（対前年比4.8%）、医業利益は2,774千円（同6.2%）の増加となりました。

社会情勢の中での人件費が上昇していますが、医業収入の増加により、利益も増加となりました。

■2023 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2022 年	2023 年	前年対比
I 医業収入	144,980	152,003	104.8%
1. 保険診療収入	109,799	114,938	104.7%
2. 自由診療収入	34,273	36,285	105.9%
3. その他の医業収入	908	780	85.9%
II 変動費	29,388	29,600	100.7%
1. 医薬・歯科材料費	14,679	14,829	101.0%
2. 外注技工料	14,709	14,771	100.4%
III 限界利益	115,592	122,403	105.9%
IV 医業費用	70,509	74,546	105.7%
1. 人件費	28,880	30,743	106.5%
2. 減価償却費	8,463	10,145	119.9%
3. 接待交際費	1,399	1,782	127.4%
4. 研究研修費	688	856	124.4%
5. 保険料	3,052	2,837	93.0%
6. 消耗器具備品費	3,102	2,987	96.3%
7. その他経費	24,925	25,196	101.1%
V 医業利益	45,083	47,857	106.2%

n=42 件（医療法人 29 件 個人開業 13 件）

4 | 2023年 医療法人経営指標分析結果

1 医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人歯科診療所96件の貸借対照表の数値から経営指標を算出し、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で分析を行いました。第3章までの分析は、医療法人・個人開業のデータを合算しましたが、経営指標分析においては医療法人歯科診療所を対象としています。

■2023年 比較貸借対照表 医療法人

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
	2022年	2023年		2022年	2023年
【流動資産】	51,955	53,567	【流動負債】	7,391	7,956
現金・預金	31,103	30,599	買掛金	1,374	1,432
医業未収金	13,316	10,711	その他	6,017	6,524
その他	7,536	12,257			
【固定資産】	40,953	41,220	【固定負債】	43,306	41,026
有形固定資産	24,930	23,430	長期借入金	35,158	33,895
無形固定資産	5,261	5,809	その他	8,148	7,131
その他の資産	10,762	11,981			
			負債合計	50,697	48,982
			純資産の部		
				2022年	2023年
			【出資金】	6,404	7,046
			【前期繰越利益】	34,663	39,162
			【当期純利益】	1,144	▲403
			純資産合計	42,211	45,805
資産合計	92,908	94,787	負債・純資産合計	92,908	94,787

■2023年 比較損益計算書 医療法人無床診療所平均

経営分析に必要な主要損益数値は、次のとおりです。役員及び職員数についてはその平均値から、役員3名および職員7名の計10名で計算しています。

■ 医業収入

(単位：千円)

	2022年	2023年	前年対比
医業収入計	89,003	91,053	102.3%
限界利益	70,716	72,365	102.3%
給与費計	39,975	41,799	104.6%
医業利益	4,039	4,053	100.3%
経常利益	7,102	7,508	105.7%

2 | 収益性分析結果

		2022年	2023年	差異
収益性	総資本経常利益率	7.6%	7.9%	0.3%
	医業収入医業利益率	4.5%	4.5%	0.0%
	医業収入経常利益率	8.0%	8.2%	0.2%
	総資本回転率	0.96回	0.96回	0回

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■ 収益性分析コメント

● 利益率

総資本経常利益率は7.9%で、対前年比0.3%増加し、医業収入医業利益率は4.5%で対前年対比は同率、医業収入経常利益率は8.2%で、前年に比べ0.2%増加しました。

● 総資本回転率

総資本回転率は0.96回で、対前年比変化なしという結果となりました。

3 | 生産性分析結果

		2022 年	2023 年	差異
生産性	限界利益率	79.5%	79.5%	0.0%
	1 人あたり医業収入/月	742 千円	759 千円	17 千円
	1 人あたり限界利益/月	589 千円	603 千円	14 千円
	1 人あたり人件費/月	333 千円	348 千円	15 千円
	労働分配率	56.5%	57.8%	1.3%

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（%）
一人あたり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人あたり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	（限界利益 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人あたり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（%）

◆ 生産性分析コメント

- 限界利益率・・・2023 年は 79.5%で、対前年比で変わりはありませんでした。
- 一人あたり医業収入・・・2023 年は 759 千円で、対前年比 17 千円増加しました。
- 一人あたり限界利益・・・2023 年は 603 千円で、対前年比 14 千円増加しました。
- 一人あたり人件費・・・2023 年は 348 千円で、対前年比 15 千円増加しました。
- 労働分配率・・・2023 年は 57.8%で、対前年比 1.3%増加しました。

4 | 安全性分析結果

		2022 年	2023 年	差異
安全性	流動比率	702.9%	673.3%	▲29.6%
	当座比率	601.0%	519.2%	▲81.8%
	固定比率	97.0%	90.0%	▲7.0%
	固定長期適合率	47.9%	47.5%	▲0.4%
	自己資本率	45.4%	48.3%	2.9%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

◆安全性分析コメント

2023年の指標では、流動比率は673.3%となっており、短期的な債務返済能力は高い水準にあり、また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

5 | 成長性分析結果

		2022年	2023年
成長性	医業収入増加率	1.1%	2.3%
	限界利益増加率	1.7%	2.3%
	医業利益増加率	▲0.8%	0.3%
	経常利益増加率	▲22.3%	5.7%

◆成長性分析コメント

2023年の経営実績は、医業収入の増加により限界利益、医業利益・経常利益も増加する結果となりました。2023年の年明けには新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがありました。5月に5類感染症に移行されてからは、予防対策は自己判断となり患者数が回復してきました。一方、歯科医院では感染予防対策を継続したため、関連するコストの増加や、外部事情による固定費、人件費の上昇がありましたが、それでも利益を確保できました。

※本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。